

## 平成27年度 第2回臨時庁議要旨

日時：平成27年11月27日（木）

午前9時～

会場：庁議室

### [審議事項]

#### 1 中瀬公園基本計画（案）について（復興事業部）

中瀬地区の震災後の土地利用については、「石巻市震災復興基本計画」において、南浜地区の公園と共に震災復興のシンボルとして、これまでの市の歴史を継承・発信していく観光拠点としての公園整備を推進することとしており、その方針を定める。

##### (1) 主な内容

###### ア 基本理念

かわみなと石巻の原風景の再生と創造

～集い、伝え、学び、創る、開かれた水辺の社交空間～

###### イ 基本方針（空間整備）

- ・「集い」：中心市街地活性化の一翼を担う、賑わいの中心拠点として整備
- ・「伝え」：中瀬の歴史や現状を後世に伝えていく空間の整備
- ・「学び」：自然環境やかわみなと石巻の歴史、震災の被害状況などを学んでいける空間の整備
- ・「創る」：旧北上川両岸との回遊性の創出・多様な主体が協働して新たな中瀬を創造

###### ウ 全体計画

###### ① 動線計画

- ・ 新東・西内海橋（仮称）から徒歩によるアクセスを基本とし、従前の道路をいかした園路を整備
- ・ 中瀬を一周できる園路を整備

###### ② 施設整備の方針

- ・ 既存の公園施設を生かす
- ・ 水辺環境や自然環境の特性を損なわないよう配置や構造・形状を検討する

###### ③ 避難計画

- ・ 洪水、高潮、津波等による浸水の危険がある場合は、来園者を避難させ、利用制限の措置を行う

###### ④ 管理運営の方針

- ・ 河川の水位の変動に影響を受けることを念頭に管理運営のあり方を検討する

##### (2) 今後の予定

- ・ 平成27年12月 基本計画（案）パブリックコメント
- ・ 平成27年12月 市民説明会開催
- ・ 平成28年 2月 第5回中瀬公園計画検討会開催
- ・ 平成28年 3月 基本計画策定・公表
- ・ 平成28年度 実施設計・用地取得
- ・ 平成29～32年度 整備工事

## 2 石巻市複合文化施設建設予定地の選定について（教育委員会）

震災復興基本計画において、震災で使用不能となり解体した石巻文化センターと石巻市民会館の代替施設として、博物館機能及び文化ホール機能をもった施設（複合文化施設）を整備することとしている。平成26年6月に「石巻市複合文化施設整備基本構想」を策定し、具体的な整備内容を盛り込んだ整備基本計画の策定作業を進めているが、早期建設に向け事業推進を図るため、建設予定地を選定する。

### (1) 主な内容

整備調整会議で行った建設候補地5カ所の評価作業うち、最も評価が高かった石巻トゥモロービジネスタウン（TBT）を、建設予定地を選定する。

### (2) 今後の予定

- ・ 平成27年11月 庁議における審議を踏まえ、建設場所を決定
- ・ 平成27年12月 市議会全員協議会において決定の経過を報告
- ・ 平成28年 3月 建設場所、事業規模、スケジュール、建設手法等を盛り込んだ整備基本計画案の策定  
パブリックコメント実施・基本計画の決定
- ・ 平成28年度  
～29年度 基本設計・実施設計・展示設計
- ・ 平成30年度  
～32年度 本体及び関連設備等建設工事、展示工事
- ・ 平成32年度末 建設工事完成、開館準備、開館

## [報告事項]

### 1 総合計画実施計画（平成28年度～平成30年度）及び震災復興基本計画実施計画（平成28年度～平成30年度）について（復興政策部）

総合計画基本計画（平成19年度～平成32年度）及び震災復興基本計画（平成23年度～平成32年度）が示す施策の実現に必要な具体的な事業の概要を明らかにし、毎年度における予算編成及び事業実施の具体的指針とするため、各実施計画を策定する。

#### (1) 主な内容

〔総合計画実施計画〕

##### ① 計画期間とローリング方式

###### i 計画期間

平成28年度から平成30年度までの3か年度

###### ii ローリング方式

社会情勢の変化や財政状況を勘案し、毎年度、見直しを実施し、個々の事業調整を行う。

##### ② 掲載対象

基本計画に掲げている施策に基づく各種事業のうち、市が実施する主な事業を施策単位ごとに掲載する。なお、国、県及び民間が事業主体となって行う事業であっても、市が事業費を負担・助成する事業は掲載する。行政内部事務、施設の運営・維持管理事業等は除く。

##### ③ 構成

施策体系、目標、重点施策、施策別の事務事業計画、建設事業一覧

④ 実施計画計上事業費

建設事業費（3か年度分の事業費）として、次のとおり計上した。

（単位：千円）

区 分	建設事業費
第1章 ともに創る協働のまち	206,045
第2章 個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	4,246,416
第3章 地域資源を活かして元気産業を創造するまち	1,325,012
第4章 安心して健やかに暮らせるまち	1,180,570
第5章 心ゆたかな誇れるまち	5,668,216
第6章 地域の個性が輝き融和するまち	2,237,476
合 計	14,863,735

※ 各種特別会計の建設事業のほか、一部非建設事業を含む。

〔震災復興基本計画実施計画〕

① 計画期間とローリング方式

（総合計画実施計画と同様）

② 掲載対象

（総合計画実施計画と同様）

③ 構成

復興の基本理念、策定方針、重点プロジェクト、施策別の事務事業計画及び建設事業一覧

④ 実施計画計上事業費

建設事業費（3か年度分の事業費）として、次のとおり計上した。

（単位：千円）

区 分	建設事業費
施策大綱1 みんなで築く災害に強いまちづくり	170,491,823
施策大綱2 市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す	59,482,618
施策大綱3 自然への畏敬の念を持ち、自然とともに生きる	46,133,976
施策大綱4 未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる	17,667,273
合 計	293,775,690

(2) 今後の予定

- ・ 平成27年12月4日 石巻市議会全員協議会で説明

2 財政収支見通しと今後の対応について（財務部）

財政の健全な運営と事務の計画的・効率的な遂行を図るため、今回策定される「震災復興基本計画実施計画」及び「総合計画実施計画」に係る事業費とその財源を加味した、平成28年度以降3か年の財政収支見通しを策定し、広く市民に周知する。

(1) 主な内容

ア 石巻市の財政収支見通しの概要

震災に伴う復旧・復興事業の推進により、予算規模は引き続き、平年（600億円程度）を大きく上回る水準で推移する見通し。

イ 歳入の見通し

集中復興期間が終了し、新たに復興・創生期間がスタートするものの、引き続き復興財源「東日本大震災復興交付金」やこれに連動した「東日本大震災復興交付金基金繰入金」及び「震災復興特別交付税」などで大幅に増加する見通し。

税については、雑損控除の減少や津波震災区域の固定資産税課税免除の段階的な縮小により、震災以前の水準に回復する見通し。

一方、普通交付税は、合併算定替えの段階的縮減が平成28年度から始まるとともに、今年度実施された国勢調査人口の影響も見込まれ、大幅に減少する見通し。そのため、歳入総額に占める通常分については、引き続き厳しい状況が見込まれる。

ウ 歳出の見通し

震災に対応するためのマンパワーの確保が引き続き必要なほか、生活保護費などの福祉関係経費や、29年4月からの消費税の引き上げ、復旧・復興された施設の維持管理経費の増加等への対応も必要なことから、復旧・復興事業の推進と合わせ、歳出総額の削減は困難な状況である。

エ 収支見通し

財政運営は歳入歳出両面で極めて厳しい状況が続く見通し。

オ 今後の対応

平成28年度以降見込まれる収支不足に対し、財政調整基金の繰入により対応していく。

また、国県支出金のほか、「東日本大震災復興交付金」をはじめ、復興財源を最大限活用し、本市の財政負担を抑制するとともに、国県に対し財政支援の継続・拡充・新設を求めていく。

復旧・復興事業への「重点化」を継続するが、行財政運営プランや公共施設等総合管理計画のもと、復興後の安定かつ持続的な財政運営を図っていく。

(2) 今後の予定

- ・ 12月4日 市議会全員協議会へ提出及び説明